

令和7年12月補正 予算事業説明書



人権・社会教育課



款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	財産管理費	会計名	一般会計
事業名		2-2	庁舎等管理費(天萬庁舎)						所属名	人権・社会教育課
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		町民、利用者、職員						総合計画における位置づけ	
									⑫生活安全体制の強化	
	意図 (対象をどうするか)		快適に施設を利用できる環境の維持・整備						「4つの挑戦」から見た位置づけ	
									①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)	
	成果の視点 (どのような効果があるか)		施設の維持管理・環境整備等を適切に行うことにより、快適に 利用できるようにする。						根拠法令・要綱等	
南部町庁舎管理規則										
予算状況			補正前の額		補正額		計			
			10,004 千円		1,875 千円		11,879 千円			
<p>【提案理由】 電気代及び下水道使用料が増加し、予算の不足が見込まれるため、光熱水費の増額、及び使用料の組替えを行う。</p> <p>【事業内容】 天萬庁舎が住民サービスの拠点としての機能を発揮できるよう維持・管理を行う。</p> <p>【状況】 夏季における冷房使用の長期化の他、7月選挙における一部貸出スペースの恒常的利用により、電気使用量が増加した。更に下水道使用量も増加傾向となった。</p> <p>【対応策】 (増額補正) 光熱水費 1,875千円 ・支出見込額6,242,186円-予算額4,368,000円=不足額1,874,186円</p> <p>(組 替) 保守点検委託 △33千円 使用料 33千円 ・支出見込額153,669円-予算額121,000円=不足額32,669円</p>										
(歳入内訳 単位:千円)										
(歳出内訳 単位:千円)										
款-項-目-節		科 目 名 称			補正前の額		補正額		節	
									10 需用費	
									4,595	
									1,875	
									11 役務費	
									1,031	
									0	
									12 委託料	
									4,221	
									△ 33	
									13 使用料及び賃借料	
									157	
									33	
									17 備品購入費	
									0	
									0	
		一般財源			10,004		1,875			
		計			10,004		1,875		計	
					10,004		1,875		10,004	
									1,875	
有効性	成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)				【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】 施設利用において快適な環境の提供を確保する。					

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費	会計名	一般会計
事業名		2	板祐生記念館活動事業						所属名	人権・社会教育課
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)	町民及び町外来館者	総合計画における位置づけ							
			⑥歴史・文化及びスポーツの振興							
	意図 (対象をどうするか)	板祐生の孔版画や蒐集品を展示し、祐生作品の芸術性の高さを伝えていくとともに、明治から昭和の貴重な収集品による文化の継承を行う	「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)							
	成果の視点 (どのような効果があるか)	入館者数の目標を4,000人とし、特別展・企画展の内容について工夫を凝らし、様々な方法を用いて周知していく。	根拠法令・要綱等							
社会教育法 南部町祐生出会いの館条例										
予算状況		補正前の額	補正額	計						
		5,465 千円	343 千円	5,808 千円						
<div>【提案理由】 電気料金の不足が見込まれるため、光熱水費を増額を行う。</div> <div>【事業内容】 板祐生記念館の文化施設としての機能を満たすよう維持・管理を行う。</div> <div>【状況】 燃料価格等の高騰により、光熱水費の不足が生じる。</div> <div>【対応策】 (増額補正) 光熱水費 343千円 ・支出見込額1,554,326円-予算額1,212,000円＝不足額342,370円</div>										
(歳入内訳 単位:千円)							(歳出内訳 単位:千円)			
款-項-目-節	科 目 名 称		補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額			
13-1-5-2	板祐生記念館使用料		600	0	10 需用費	3,194	343			
18-2-4-1	さくら基金繰入金		1,419	0	11 役務費	670	0			
20-5-5-1	板祐生記念館グッズ代		15	0	12 委託料	1,323	0			
20-5-5-1	板祐生記念館収入金		200	0	13 使用料及び賃借料	276	0			
					18 負担金補助及び交付金	2	0			
	一般財源		3,231	343						
計			5,465	343	計	5,465	343			
有効性	成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)		【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】 予算計上により、適正な支払いを行うことができる。							